

教育機関と連携し、 マルチメディアDAISY図書を広める

岡山県立図書館 サービス第一課
寶口 久仁子

はじめに

岡山県立図書館では、平成21年に改正された著作権法を受け、平成23年度より録音図書の貸出可能対象者を「視覚による表現の認識に障害のある人」と変更し、録音図書の貸出サービスを拡大しました。そのことにより、録音図書の利用が格段に増え、これまで活字のみの読書に困難があった方にも図書を楽しんでもらえるようになりました。

しかし、当館で録音図書を利用している方の大半は大人で、小・中学生及び高校生の利用は多くありません。そこで、読むことに困難を抱える子どもたちにも、読書の楽しみを知らせるにはどうしたらよいか考えました。その中で、児童・生徒の発達段階や障害の種類によっては、聴くだけの録音図書よりも、マルチメディアDAISY図書が有用な資料であることを知り、マルチメディアDAISYを中心として読

むことが苦手な子どもたちの読書活動の支援に取り組むことにしました。

マルチメディアDAISY図書 利用拡大の試み

マルチメディアDAISY図書の利用拡大のために、まず、資料の収集と所蔵リスト作りを行いました。そして、「マルチメディアデイジーをご存知ですか？」と題した広報のちらしを作成し、館内の利用者対応カウンターに置くとともに、市町村図書館や県内の特別支援学校などにも配布しました。

しかし、マルチメディアDAISY図書の認知度がまだまだ低いことや、必要とする子どもたちに図書館内のPRでは届きにくく、利用拡大につながらないという壁にぶつかりました。また、子どもたち自身がこのような情報を得て、予約したり借出したりすることは困難な面もあります。

そこで、保護者や学校の先生に向けて効果的に情報提供するために、教育機関と協力して利用促進を呼びかけることにしました。

マルチメディアDAISY図書 体験会の開催に向けて

岡山県には、教育に関する研究及び教育関係職員の研修を行う岡山県総合教育センターという県の機関があります。私たちはまず、その特別支援教育部の先生方へ、マルチメディアDAISY図書を紹介するとともに、図書館ができることを説明に行きました。

さらに、これらの情報を、実際に学校現場で子どもたちと接している先生方にも伝えるために、実物を使いながら説明する機会を提供させていただきたいことをお願いしました。

その結果、岡山県総合教育センター内で行われる先生方の研修の休憩時間を使って、マルチメディアDAISY図書体験会を開催できることになりました。

マルチメディアDAISY図書 体験会

以下では、本年度4回にわたって実施したマルチメディアDAISY図書の概要を紹介します。

【内容】

- (1) マルチメディアDAISY図書の説明・実演
- (2) マルチメディアDAISY図書の利用体験
- (3) 関連資料リストの配布
- (4) その他の障害のある子ども向け資料の紹介

【準備物】

- マルチメディアDAISY図書の説明資料（パワーポイント）
- マルチメディアDAISY図書
- 配布用チラシ（「マルチメディアDAISYをご存知ですか?」「読むことが困難な子どもたちに読書の楽しさを」…当館作成）
- 配布用マルチメディアDAISY図書リスト
- 説明用パソコン・大型モニター 各1台
- マルチメディアDAISY体験用パソコン6台
- 展示用大型絵本・布絵本・バリアフリー資料
- 岡山県立図書館利用案内
- マルチメディアDAISY図書体験会ポスター

【参加者数】

全4回 のべ61名

【体験会の様子】



【担当者所感】

体験会は、特別支援教育に関する研修日に合わせて行ったので、大半が特別支援教育に携わっている先生方の参加でした。しかし、マルチメディアDAISY図書を知らない先生がほとんどで、広報をすることの大切さを実感しました。

参加した先生方の多くはマルチメ

ディアDAISY図書に興味をもっており、くわしい使い方やどんな本があるのかなど、熱心に質問される先生もいました。パソコン環境や学校全体での理解を得る必要もあるなど、学校現場ですぐに使うことはむずかしいかもしれませんが、マルチメディアDAISY図書の存在を知ってもらい、先生方の選択肢の一つとして周知できたことは良かったと思いました。

一方、先生方からは「音読の練習に使えるか」「授業でうまく生かすにはどうしたらいいか」など、子どもの読みのスキルアップのために、いかに利用できるかという質問が多くありました。

もちろん、マルチメディアDAISY図書は、音読指導においても有効な資料だと思いますが、子どもたちの今ある力の中で、読書の楽しみを広げることのできる資料でもあります。そのこともしっかりと伝え、学習での利用のみに偏ることなく、子どもたちが読書を楽しむことのできる一つのツールとしても活用してもらえよう伝えていきたいと思いました。

【参加者アンケート結果】

体験会の参加者にアンケートの協力をお願いしました。14名から得られたアンケート結果を掲載します。なお、括弧内の数値が件数です。

Q1：マルチメディアデイジーをご存知でしたか？

使ったことがある (0)

存在は知っていた (1)

知らなかった (13)

Q2：マルチメディアデイジーを利用したいと思いますか？

使ってみたい (11)

→使ってみたいと答えた先生にお伺いします。どのような場面で利用できると思われましたか(複数回答可)

- ・国語等の授業 (5)
- ・朝読書や図書時間 (8)
- ・休憩時間 (3)

その他 (2)

- ・活字が読めない子の学習
- ・特別支援学級の児童の学習
- ・福祉の学習

使ってみたいが、実際の利用はむずかしい (3)

使いたいと思わない (0)

→「使ってみたいが、実際の利用はむずかしい」「使いたいと思わない」と答えた先生にお伺いします。そう思った理由があればお答えください。(複数回答可)

- ・パソコンなどの設備がない (0)
- ・マルチメディアDAISY図書そのものにあまり魅力を感じない (0)
- ・読みたい本がマルチメディアDAISY図書の中にない (0)

・その他 (3)

- ・学校のパソコンに他のソフトをインストールするのがむずかしい。
- ・読み方が少し単調。
- ・どんな時に利用できるか考える余裕がない。薦めたい児童がいたら考えてみたい。

Q3：その他、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

- ・機械的な音声に聞こえるので、朗読の代わりには少し使いにくいと思う。
- ・全画面表示でないと、子どもは他のことが気になる。
- ・本を読むことに困難を抱える人だけしか利用できないので、使ってみたいが実際の利用ができない。低学年などの読み聞かせなどに利用してみたい気がするが……。
- ・読書嫌いな子にも、その理由があるかもしれないという目で、子どもたちを見ていこうと思った。
- ・読むことに困難を抱えている子をきちんと見つけてあげたいなと思った。私も以前参加した県立図書館での講演を聞いてから知りました。今日多くの先生に教えていただいてうれしかったです。(司書)
- ・修学旅行に向けた調べもの学習のためのマルチメディアDAISY図

書があれば役立つと思う。(金閣寺や奈良の大仏など)

マルチメディアDAISY図書 体験会を終えて

体験会后、参加した小学校の特別支援学級の担任の先生から貸出を希望する連絡がありました。体験会で初めてマルチメディアDAISY図書を知り、学級の読書の時間に利用してみたいとのことでした。

その他にも、当館では機会を設け、マルチメディアDAISY図書について、

教育関係者・福祉関係者への広報を行っています。少しずつではありますが、学校での利用が広がっており、また、その情報を得た先生から、支援の必要な児童の保護者へも情報が伝わり、個人で貸出を希望する連絡をくださった方もおられます。

今後も、本そのもので読書することが苦手な子どもたちでも、「読書を楽しむことができる」という情報を提供し、さらに多くの方に読書の楽しみを伝えていきたいと考えています。

